

令和3年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

1 事業概要

県民の保健及び医療の向上並びに福祉の増進を目的とする4つの公益事業については、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、経済や個人活動が制限される厳しい環境の中、事業の中止や変更などもあったが、感染対策の徹底及びWEBやオンライン会議等の活用を行い事業の継続に努めた。

健康づくり運動普及啓発事業では、沖縄県が策定した「健康おきなわ21（第2次）～健康・長寿おきなわ復活プラン～」を踏まえ、生活習慣病の発症と重症化を予防するため、働き盛り世代だけでなく若年層に向けた事業にも力を入れた。オンライン講演会、情報誌とWEBを連動した情報発信等、社会状況に応じた健康づくり情報の提供を行った。また、市町村や団体、企業等へ助成事業を行い、広く健康づくりの推進に取り組んだ。

臓器移植普及推進事業では、沖縄県と委託契約を締結し、臓器移植コーディネーターを2名配置した。新型コロナウイルス感染症の影響によりドナー情報数及び提供数については、前年度に比べ減少したが、医療機関と調整を行いながら定期訪問及びオンライン会議等を開催し移植医療体制の整備を継続して行った。また、県民への普及啓発事業としては、コミュニティラジオ局と連携した広報、SNSを活用したグリーンリボンアート作品の募集や、WEBでの動画配信等を行った。

ファミリーハウス事業では、離島や遠方から本島の医療機関で治療を受ける子どもや付き添い家族の経済的な負担軽減を図り、心身ともに安らぐことができる宿泊施設「がじゅまるの家」の管理運営を行った。令和3年度の施設の延べ利用者数は、前年度の実績を下回ったが、コロナ禍において施設を閉所することなく運営を行うとともに、施設の修繕や冷房設備の取替え等を行い、安全かつ快適な施設となるよう努めた。

勤労者福祉事業では、勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う就労支援に対して必要経費を助成し、就労困難者への雇用の機会の提供及び人材育成を図り労働者福祉の向上に取り組んだ。

一方、収益事業においては、現有資産の有効活用のため施設の外壁全面塗装工事等の施設整備を行った。

令和3年度事業の概要は以下のとおりである。

- (1) 健康づくり運動普及啓発事業（公益1）
 - ア 健康づくりイベントの開催
 - イ 健康づくり情報の提供
 - ウ スマートライフサポート事業
 - エ 勤労者健康推進事業
 - オ 助成事業
- (2) 臓器移植普及推進事業（公益2）
 - ア 臓器移植コーディネーター受託事業
 - イ 医療機関の移植医療体制整備事業
 - ウ 県民への普及啓発事業
 - エ 助成事業
 - オ 賛助会員の募集
- (3) ファミリーハウス事業（公益3）
- (4) 勤労者福祉事業（就労支援事業）（公益4）

- (5) 現有資産の活用（収益1）
- (6) 特定資産活用による拡充事業計画及び周年事業計画の実施状況
- (7) 資金運用

2 事業実績

(1) 健康づくり運動普及啓発事業

ア 健康づくりイベントの開催

(ア)「健康づくり講演会」オンライン開催

県民の健康意識の向上を図り、生活習慣の改善や健康づくりの普及を目的にオンライン配信により開催した。視聴回数 1,131 回

- ・ 日 時：令和 3 年 12 月 23 日（木）～令和 4 年 3 月 22 日（火）
- ・ 開催方法：YouTube でのアーカイブ無料配信
- ・ 内 容：

【第一部】講演（約 40 分）

講師 武田友紀 氏（HSP 専門カウンセラー）

演題 「小さなことが気になる人へ。仕事や人間関係をラクにするコツ」

【第二部】トークセッション、Q&A（約 60 分）

講師 武田友紀 氏×平山雄也 氏（こころとからだつなぐクリニック院長）

演題 「自分を知ることココロが軽くなる！」

※第二部に関しては、令和 4 年 3 月 23 日以降も事業団ホームページで配信を継続している。<https://www.kenkou-island.or.jp/topics/1646270310/>

(イ) 食育活動の推進

a 調理実習の実施

地域に根差した健康づくりの視点から、減塩・郷土料理の伝承・生活習慣病予防メニュー等をテーマに体験型食育（調理実習）を沖縄県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、名護市ほか 10 市町村で計 18 回実施した。

- ・ 期 間：令和 3 年 10 月～令和 4 年 2 月（参加者数：計 379 人）

b 食育 SAT システム活用事業

県内各地における食育イベント及び講習会等において、実物大のフードモデルを用いた体験型栄養教育システムを活用し、県民の食習慣の見直しと望ましい食生活の実践を促すことを目的に、「食育 SAT システム（備品）」を（公社）沖縄県栄養士会に貸借し、効率的な運用を図った。（令和 2 年度に備品使用貸借契約を締結。）

[活用実績]

- ・ 活用件数 8 件
- ・ 講習会等参加人数 . . . 473 人

c 沖縄県栄養士会連携事業 ※拡充事業

①食育リーダースキルアップ支援事業

地域における食育活動の推進を目的に、県内の食育活動に従事する方を対象として、食育リーダーとしての専門的技術を習得する研修会（講座・調理実習）を同内容で北部・中部・南部で開催した。

日時/場所：令和 3 年 10 月 2 日（土）

沖縄ガス(株)ショールームゆ〜くる（那覇市）12 名
令和 3 年 10 月 3 日（日）

名護中央公民館調理室（名護市）18 名
令和 3 年 10 月 9 日（土）

健康福祉センターうるみん（うるま市）31 名

内 容：【講義】「生活習慣病と食生活について」

講師：笠原寛子 氏（管理栄養士）

【調理実習】「塩分 2 グラム未満の減塩食」

講師：長嶺由香 氏（管理栄養士）

②若年層向け食育講習会

働き盛り世代の生活習慣病予防とヘルスリテラシーの向上を目的とし、今後就職や進学を迎える若年層（高校生）を対象に、食育 SAT システムを利用して体験型食育講習会を開催した。

日時/開催校：令和 3 年 10 月 27 日（水）～10 月 29 日（金）

県立八重山高等学校（2 年生 6 クラス、218 人）

令和 4 年 3 月 16 日（水）

県立南部商業高等学校（2 年生 2 クラス、38 人）

（ウ）女性の健康づくり支援事業

多くの女性が社会で安心して学び、働き、心身ともに健康的な社会生活を自己実現するのに必要不可欠としている生理用品の無償配布支援を沖縄県婦人連合会と共催で行った。また、メディアでの告知・案内を積極的に展開し、県内における生理の貧困問題に対する意識啓発並びに多方面での支援（社会福祉協議会や自治会、学校等での団体の受取り）の広がりへのきっかけづくりとしての役割を果たすことができた。

配布対象者数：6,240 人

配布場所：沖縄県婦人連合会、名護市女性会、沖縄市女性連合会、宜野湾市婦人連合会、浦添市婦人連合会、那覇市婦人連合会、沖縄県労働者福祉基金協会＜パーソナルサポートセンター（北部、中部、南部）、グッジョブセンターおきなわ＞、沖縄県保健医療福祉事業団

配布期間：令和 3 年 7 月 5 日（月）～8 月 31 日（火）

掲載メディア：琉球新報、沖縄タイムス、週刊ホームプラザ、週刊レキオ、NHK

協力団体：沖縄県労働者福祉基金協会

イ 健康づくり情報の提供

（ア）メディアミックス型情報発信事業

健康情報誌「kenko ISLAND」を年 3 回（8 月、11 月、2 月）で各号 20,000 部発行し、県内公的機関、医療機関、金融関係、事業所へ配布した。また、県内コンビニ（セブンイレブン）、タウンプラザかねひで、モノレール各駅及び、イベント等での配布を行った。また、配布場所にマークをつけた地図をWEB上に掲載し、より多くの人に届けることで幅広い世代の読者層の獲得を図った。各号でプレゼント応募の際に、アンケートを実施しているが、その結果（2 月号/総数 470 件）によると、本誌を手にとった場所として、セブンイレブンで、約 35%となっており、以下、職場 16%、モノレール駅 12%と続く。また、男女別の割合では、男性 22.1%、女性 76.2%となり、年代別では 1 位が 40 代（31%）

以下、30代（29%）、50代（18%）、20代（14%）と続いている。

情報誌の発行に加え、専用ウェブサイト（www.islandweb.okinawa）及び各種 SNS（Facebook、Twitter、Instagram）、動画配信サイト（YouTube）等の複数メディアを組み合わせることで、若年層を中心とする働き盛り世代に向けた効率的な健康づくり情報の発信に努めた。SNS においては、キャンペーン等の実施によりフォロワー数を増やし、より多くの方に情報発信することができた。（令和4年3月現在フォロワー数：Facebook 194、Twitter 952、Instagram 520、YouTube 77）

令和3年度の「kenko ISLAND」各号の特集テーマは以下のとおりである。

- ① Vol.59（8月号） 運動習慣の身につけ方
- ② Vol.60（11月号） 自己肯定感の育て方
- ③ Vol.61（2月号） PFC バランスでカラダがととのう栄養ごはん

（イ）健康情報発信（ホームページ）

事業団ホームページにおいて、イベント案内や企画コンペ、助成金の公募情報掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

ウ スマートライフサポート事業

（ア）保険者との連携

a スマートライフセミナー（受託事業）

沖縄県市町村職員共済組合の組合員とその配偶者を対象に生活習慣病の予防を目的とした保健・栄養・運動の実践型セミナーを開催した。

- ・令和3年11月24日（水）10：00～15：35 参加者数：35人
会 場：ロワジールホテル那覇 3F 龍宮の間
- ・令和3年11月26日（金）10：00～15：35 参加者数：31人
会 場：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート

【セミナー内容】

「新型コロナウイルス感染症と生活習慣病～あなたにも身近なリスク！！

～」保健編：医師 那須道高 氏

「健康と食事について～働き世代～」

栄養編：管理栄養士 笠原寛子 氏、長嶺由香 氏

「自宅やオフィスでできる簡単フィットネス」

運動編：健康運動指導士 津嘉山あいき

上記の講演のほか、現在の健康状態を把握し今後の行動変容に繋げるため、会場内に測定コーナーを設置し、体組成計を用いた測定を行った。

なお、予定していた地方職員共済組合沖縄県支部、公立学校共済組合沖縄支部については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

（イ）地域、職域における指導

県内事業者等からの依頼により、健康づくり実践講座の講師として健康運動指導士の派遣を行った。

- ・実施回数：5回（4企業の申込、オンライン開催含む）

内 容：各企業の希望や目的に合わせて、職場や家庭で出来る筋トレ・ストレッチなどの実技及び座学を交えた健康づくりのための指導を行う。

参加人数：142名

エ 勤労者健康推進事業 ※拡充事業

(ア) 健康経営普及啓発プロモーション事業

a 職場の健康力アップ促進事業（沖縄県との共同事業）

県内企業に対し健康経営の普及推進を目的に、企業の健康づくりを企画、立案から実施までワンストップで支援していく事業を実施するため、企画提案コンペによって選定された（一社）トータルウェルネスプロジェクトオキナワに運営を委託した。当事業では、各企業が抱える職場の健康問題を改善するための取組みを支援し、活用した企業は17社（従業員2,250人）、参加延べ人数は982人であった。企業からの要望により多く実施された支援メニューは、①フィットネス ②味覚講座 ③メンタルヘルス対策となっている。その他には、経済団体・関係団体への情報伝達、各種メディアからの情報発信、健康づくりに関する各種制度の周知や利用促進等の普及啓発を行った。

実施期間：令和3年8月4日～令和4年3月25日

委託額：9,300,000円（うち当事業団負担額3,999,000円）

オ 助成事業

(ア) 市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の10分の7（限度額30万円）の助成を行った。

令和3年度は、7市町村への助成を決定したが、うち3市町村については、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止等のため、申請取り下げとなった。助成総額：1,072,000円

	市町村名	助成対象事業	開催日	事業内容
1	沖縄市	沖縄市健康づくり教室	R3.9.5～ R3.11.21	市民が自ら生活習慣病の予防及び健康増進を図ることを目的に、働き盛り世代が参加しやすい平日夜間と土日に健康づくり教室を開催した。内容は、運動や栄養に関する講話、ヨガ・エクササイズ体験、自宅で行う筋トレトレーニング等を週ごとにメニューを変えて、各コース12回実施した。 参加者数/13人（ペアーレ沖縄・タピック）
2	北中城村	eスポーツによる健康イベント	R3.10.2～ R3.10.3	コンピューターゲームで勝敗を競うeスポーツはオンラインでもプレーできるため、コロナ禍の中、新たな形のスポーツとして老若男女が同じフィールドで競うことができるイベントとして実施した。 参加者数/計45人 会場/スタジオキタナカ（イオンモール沖縄ライカム内）とオンラインでの参加
3	与那原町	第13回よなばるてくてくウォーク2021	R4.2.13 (中止)	町民の健康・体力づくりの推進とスポーツ意識の高揚を図る目的で、コロナ時代に対応したウォーキング大会の実施に向けて計画していたが、県の緊急事態宣言の期間延長に伴い事業中止となった。 参加申込者数/ 353人 会場/与那古浜公園（与那原町）
4	伊是名村	第14回伊是名村健康フェア	R3.11.3 R3.11.6 R3.11.23	「食育弁当づくり」を通して、「食育」について考える機会の創出を図るとともに、教育委員会の学芸員による史跡巡りとノルディックウォーキングを組み合わせた事業を実施する。
	宜野湾市	宜野湾市はごろもウォーキング大会	-	申請取下げ
	嘉手納町	食育事業	-	申請取下げ

北谷町 教育委員会	令和3年度 第37回北谷 町民トリムマ ラソン	-	申請取下げ
--------------	----------------------------------	---	-------

(イ) 健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業経費の助成（限度額 30 万円）を行った。

令和3年度は、5 団体への助成を決定したが、1 団体については、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止となった。助成総額：1,108,000 円

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	日本健康 運動指導 士会沖縄 県支部	第13回 うまんちゅ健康 フェスタ	—	⇒新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
2	沖縄県 ウォーキン グ協会	高齢化、少子化にあ って「歩育ウォーキン グの啓発 小冊子作 成事業」	R3.10月 ～ R4.2月	「歩育ウォーキング」の啓発小冊子を作成し、親子の絆 づくりとウォーキングを実践。 対象は幼稚園児～小学校3年生 作成部数/500部 配布先/80件（市町村教育委員会、認定こども園等）
3	H・M 卓球 同好会	卓球講習会	R3.10月 ～ R4.1月	南城市、那覇市、糸満市で4回ずつ卓球講習会を実施した。 参加者数は、延べ220人であった。 会場/花木卓球クラブ、那覇市民体育館、糸満西崎体育館
4	津波古 自治区	津波古区ウォーキン グ運動普及事業	R3.7月 ～ R4.2月	オンラインでの動画配信によるウォーキングの推奨と運 動指導士を招き月に1回（計5回）のウォーキング教室を 開催した。参加者数/87名
5	Kailua Hula Studio	フラを通して 心も身体も ALOHAPPY アロハッピー～ガン ジュウフラ&アロハ イサイト～	R3.11月 ～ R3.12月	フラワークショップの開催（6回）とモーニングフラ&ビ ーチグリーン（5回）を実施し、フラによる運動習慣の定 着と心身のリフレッシュを図る。 〔フラワークショップ〕計6回開催/参加者数延べ101名 〔アロハサイト〕計5回開催/参加者数延べ78名

(ウ) 健康課題解決型支援事業（助成事業）※拡充事業

市町村及び民間企業等が連携した自主的な取り組みを促進するため、公募により選定した県民の健康課題の解決を図るプロジェクトに対し、将来的な自走化を見据えた助成支援をおこなった。令和3年度は3件の応募のうち、2件のプロジェクトに対し、助成を行った。なお、スポーツデータバンク沖縄株式会社については、昨年度からの継続事業となっている。

①助成事業者：沖縄セルラー電話株式会社（連携先：那覇市）

事業名：「医師監修による生活習慣病予防プログラム」の実証実験

事業内容：那覇市の働き盛り世代にアプリを活用した健康増進を図ることを目的とし、以下の内容を実施した。

- a. 40代・50代の特定健診対象者にスマートフォンのアプリを活用し、行動変容を起こさせ、生活習慣病の予防及び改善へとつながるか実証。

助成金額：5,000,000 円（助成率：100%）

②助成事業者：スポーツデータバンク沖縄株式会社

（連携先：うるま市教育委員会）

事業名：うるま市内の小学校における健康力・スポーツ力向上促進事業

事業内容：子どもたちの「健康力」「スポーツ力」に対する課題解決を行う仕

組み（サービス）を展開することで、子どもたちの「体力減少」「運動嫌い」の改善、将来を見据えたスポーツ実施率の向上促進を目指す。また、保護者や学校職員へのアプローチを行うことで、大人の健康意識改善やスポーツ実施率の向上を目指すことを目的とし、以下の内容を実施した。

- a. 小学生・保護者を対象にした専門指導者による、正しく・楽しくできる運動・スポーツ教室（かけっこ、ヨガ、運動教室、サッカー、バレーボール、バスケット、野球等）を定期的開催
- b. 小学生の運動指導に従事する教員・指導者、保護者等を対象としたセミナー・研修会の開催

助成金額：4,474,000 円（継続事業のため助成率：75%）

（エ）健康づくりボランティア養成・活動支援強化事業 ※拡充事業

市町村の健康づくりを担う人材の確保・育成を図るとともに、その活動を活発化させることで、県民の健康づくりを推進する環境を整えることを目的に、市町村を対象に助成応募者を募り、那覇市ほか 11 市町村へ事業費の助成を行った。助成金額については、事業費の 10 分の 5 とし、限度額については次のとおりとした。

限 度 額：人口 4 万人以上・・・40 万円、人口 4 万人未満・・・30 万円

助成金額：1,643,000 円

	市町村	事 業 内 容				主な事業内容
		①健康づくり推進員		②食生活改善推進員		
		養成	活動支援	養成	活動支援	
1	那覇市			○	○	②新規養成（7名）、補助金交付
2	宜野湾市		○	○	○	①新規養成（1名）、健康体操普及運動での活用 ②各種健康教室での活用、補助金交付
3	浦添市			○		②考案したレシピの動画撮影・配信を実施。参加者（45人）
4	沖縄市				○	②研修会の実施、補助金の交付
5	豊見城市			○	○	②新規養成（4名）、研修会の実施
6	読谷村		○ 健康づくりサポーター		○	①健診受診勧奨での活用 ②補助金交付
7	嘉手納町		○ 健康を守る会		○	①補助金交付 ②補助金交付
8	中城村		○ 健康生活推進員			①研修会の実施、各種健康教室での活用
9	西原町		○		○	①活動保険・活動通知 ②研修会の実施、イベント等での活用
10	与那国町			○	○	②研修会旅費、食育教室の実施
11	竹富町				○	記念誌・レシピ集作成に活用
	うるま市	—	—	—	—	申請取り下げ

	伊江村	—	—	—	—	申請取り下げ
--	-----	---	---	---	---	--------

カ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業等

- (ア) 「県民健康フェア」の開催（9月）
- (イ) 「若年層の健康教室」の開催（2月）

(2) 臓器移植普及推進事業

死後の臓器提供には、心臓が停止した後に行う心停止後臓器提供と法的に脳死とされた後に行う脳死下臓器提供がある。平成22年に臓器の移植に関する法律が改正されて10年以上が経過しているが、臓器提供者数は思ったような増加はなく、課題解決には至っていない。令和3年度においては、未だ新型コロナウイルス感染症の影響があり、全国的にも提供数・移植数は昨年度に引き続き大幅に落ち込む結果となった。

沖縄県では献腎移植（亡くなった方からの腎臓移植）が可能であるが、本県における透析患者数は、人口100万あたりの患者数で全国上位に位置し、令和3年12月末では240の方が献腎移植希望の登録を行っている。昭和62年度に初めて献腎移植が行われてから心停止下臓器提供のみが続いていたが、平成26年度に県立中部病院で県内初の脳死下臓器提供があり、平成29年度以降は脳死下臓器提供のみが継続している。令和3年度は、沖縄県においても全国と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ドナー情報数は大幅に減少した。その中でも脳死下臓器提供1例、献腎移植4例（うち3件は県外からの提供）が行われた。これまでの累計は臓器提供84例、献腎移植159例となっている。

昨年11月に琉球大学病院が県内で初めて、国内では19施設目の膵臓移植施設として認定された。これにより脳死下での膵臓移植が可能となった。また、琉球大学病院は肝臓移植施設としての認定も目指している。

ア 臓器移植コーディネーター受託事業

臓器移植連絡調整者設置事業を沖縄県から受託し、臓器移植コーディネーターを2人配置し、移植に関わる医療機関の医師・院内コーディネーターおよび日本臓器移植ネットワークとの情報交換や移植医療の普及啓発の強化を図った。

(ア) 臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

令和3年度の本県におけるドナー情報数は6件（令和2年度12件）で、内1件が脳死下臓器提供に至った。移植については、県外の方からの提供を含め、4人の患者に腎臓移植が行われた。

数字：県内実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報数	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	1	6
提供数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
献腎移植数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	※1	0	※2	4

※県外ドナーからの提供による移植を含む

(イ) 臓器移植推進委員会の開催

臓器移植医療の専門的立場からの指導助言を受け、臓器移植医療に対応できる組織体制を構築する必要があることから、専門医による推進委員会をオンラインで開催した。

- 第1回
開催日時：令和3年7月27日（火）18:00～19:30
開催場所：オンライン
- 第2回
開催日時：令和3年10月29日（金）18:00～19:30
開催場所：オンライン
- 第3回
開催日時：令和4年3月23日（水）18:30～20:00
開催場所：オンライン

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

（ア）病院啓発

新型コロナウイルス感染症が蔓延している状況においても、可能な限り医療機関を巡回訪問し、勉強会や移植関連情報の提供を行い院内体制の充実に努めた。また、行政や警察などの関係機関への訪問も行い連携強化を図った。

（イ）沖縄県移植情報担当者会議（計3回）

開催日時：令和3年7月29日（木）14:00～15:30

開催場所：オンライン

参加者：44人（14施設）

内 容：「沖縄県における臓器提供の現状」

仲間貴享（沖縄県保健医療福祉事業団）

症例報告「コロナ禍での脳死下臓器提供（当院第1例目）」

和氣亨氏（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）

講演「琉球大学病院における肝移植の現状」

高槻光寿氏（琉球大学大学院）

開催日時：令和3年12月9日（木）14:00～15:30

開催場所：オンライン

参加者：40人（13施設）

内 容：「アイバンク活動報告」

西昌子氏（沖縄県アイバンク協会）

「沖縄県移植コーディネーターより活動報告」

勝連知治（沖縄県保健医療福祉事業団）

「国内の臓器提供の現状について」

二ノ宮千明氏（日本臓器移植ネットワーク）

「脳死下臓器提供を経験して～事務職員の役割～」

渡慶次泰輝氏（浦添総合病院）

開催日時：令和4年3月10日（木）14:00～15:00

開催場所：オンライン

参加者：45人（11施設）

内 容：「沖縄県移植コーディネーターより現状報告」

勝連知治（沖縄県保健医療福祉事業団）

「脳神経外科医師の立場から見た日本の臓器提供事情の問題点」

吉開俊一氏（北九州湯川病院）

(ウ) 医療機関掲示用ポスターの作成

医療機関において県民の臓器提供に対する意思を十分に汲み取る為の方策として、九州沖縄 8 県合同で院内掲示用のポスターを作成し、沖縄においては、沖縄県移植情報担当者を設置する 16 施設へ配布した。

※上記(ア)、(イ)、(ウ)の事業については、日本臓器移植ネットワークの 2021 年度都道府県支援事業費助成金を活用し実施した。

ウ 県民への普及啓発事業

(ア) 臓器提供意思表示カードの配布及び所持・意思表示欄への記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置や健康保険証・自動車免許証等への記載推進について普及啓発を行った。

○市町村、関係機関等へ意思表示カードの補充を行った。

○沖縄タイムス社の LINE 広告および音声メディア Voicy「さくっと沖縄」にて臓器提供意思表示促進のPRを行った。

実施日：グリーンリボンデー10月16日（臓器移植法施行日）

○コミュニティラジオ局と連携した意思表示促進事業を行った。

連携局：FM よみたん、FM とよみ、FM やんばる、
ハート FM なんじょう、FM くめじま 計 5 局

期 間：令和 3 年 9 月～令和 3 年 10 月

事業内容：20 秒スポット CM 計 598 本、番組出演（FM よみたん）、週刊ほ～むぷらざの紙面掲載 計 5 回

(イ) 沖縄グリーンリボンアート展の開催

県立図書館や県立病院において、作品展を開催し移植医療について県民の関心を高めることを目的に行った。

○県立図書館：令和 3 年 9 月 29 日（水）～10 月 25 日（月）

○県立中部病院：令和 3 年 11 月 12 日（金）～12 月 3 日（金）

(ウ) Instagram キャンペーンの実施

グリーンリボン沖縄 Instagram オフィシャルアカウントを開設し、グリーンリボン認知度向上のためのアート（写真・絵画）・塗り絵の募集を行い、26 都道府県よりアート 56 点（県内 4）・塗り絵 142 点（県内 16）の応募を頂いた。

募集期間：令和 3 年 7 月 12 日（月）～8 月 15 日（日）

(エ) グリーンリボンプロモーション事業 ※拡充事業

県内で活躍するアーティストのキョサク氏（モンゴル 800）が音楽プロデュースしたグリーンリボンプロモーションビデオ（ショートムービー「あなたのこと」【令和 2 年度製作】）のテレビ・ラジオ CM 放映及びウェブ CM 配信を行った。また医療機関 3 施設（浦添総合病院、友愛医療センター、那覇市立病院）にて院内放送の協力を頂いた。

○テレビ CM

放送局：沖縄テレビ放送

内 容：「めざまし TV」番組内 天気フィラー 60 秒

期 間：令和 3 年 9 月 1 日から 10 月 31 日（毎週水曜）計 9 回

時 間：午前 6 時 57 分頃

○ラジオ CM

放送局：エフエム沖縄／ラジオ沖縄／RBCi ラジオ

内 容：20 秒スポット CM 20 本×3 局 計 60 本

期 間：令和 3 年 10 月 4 日から 10 月 15 日

時間帯：月曜日から金曜日の出勤・退勤帯に放送

○ウェブ CM

YouTube「わおちゅーぶ」フルバージョン映像掲出

YouTube「ハイウェーブチャンネル」60 秒映像掲出

※ショートムービー「あなたのこと」

第 40 回沖縄広告協会「広告賞」Web フィルム単発・シリーズ共通部門
金賞受賞

エ 助成事業

(ア) 組織適合性検査の助成

献腎移植登録可能施設（友愛医療センター・沖縄県立中部病院）で、組織適合性検査を受けた臓器移植希望者 20 人に対して、一人 2 万円の助成を行った。

(イ) 臓器移植普及啓発活動団体助成事業

広く県民に臓器移植が正しく理解されることを目的に、県内において臓器移植の普及啓発活動を実施している保健・医療・福祉団体等に対し 10 万円を上限に助成を行った。

○沖縄県腎臓病協議会

○沖縄県アイバンク協会

オ 賛助会員の募集

賛助会員（1 口：3 万円）加入の協力を、県内の医療機関及び企業団体等に呼びかけたところ、26 団体から 26 口、78 万円の会費収入があった。

カ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業

(ア) 臓器提供に関する調査

(イ) 研修会等派遣事業 ※拡充事業

(ウ) 臓器移植普及推進月間（10 月）行事

a 街頭キャンペーン

b 臓器移植を知るシンポジウム 2021

(3) ファミリーハウス事業

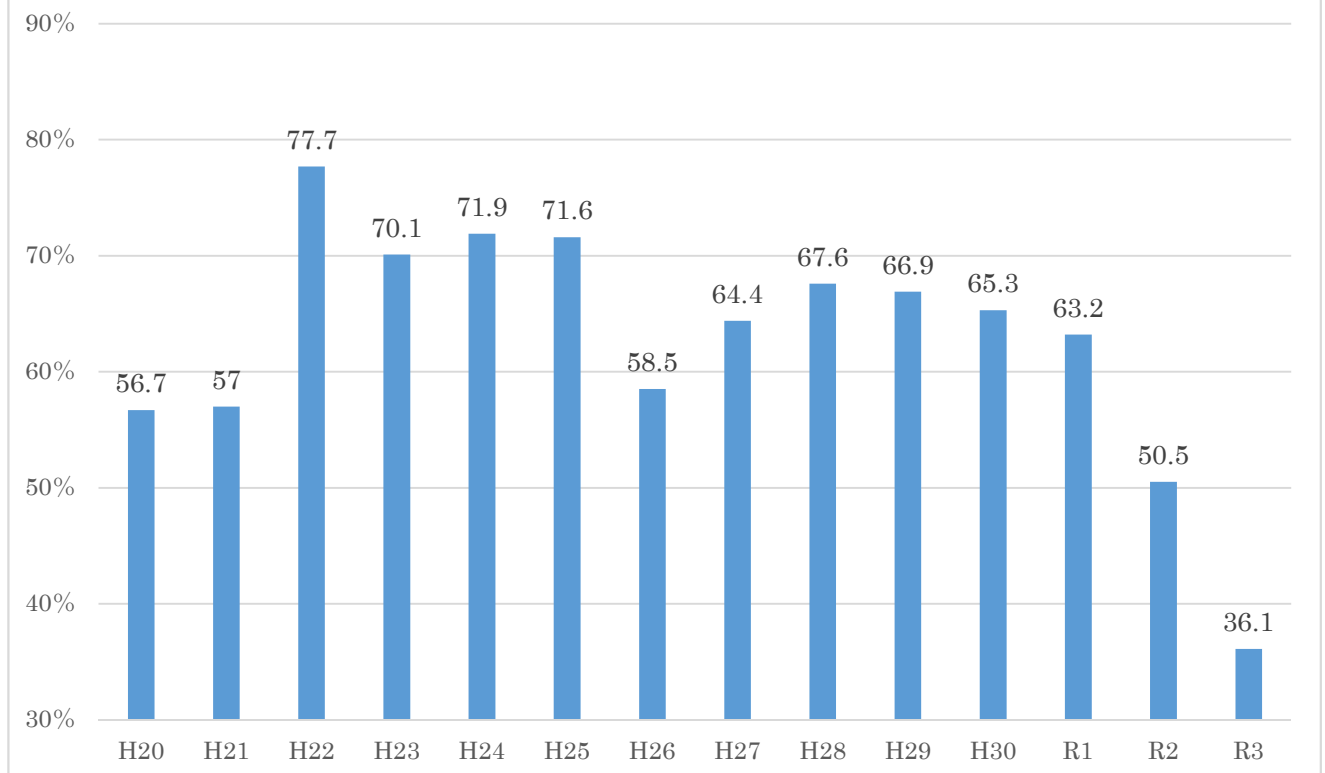
離島など遠隔地から「南部医療センター・こども医療センター」等に、入院または通院する子どもや付き添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営を認定 NPO 法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。また、施設においては、利用者が快適に過ごせるよう環境整備に努めた。ファミリーハウス事業について広く県民に周知するため、当事業団発行の健康情報誌「kenko ISLAND」誌面にて紹介記事（利用者の声、スタッフインタビュー等）を掲載した。

ア 令和 3 年度の稼働率及び利用者数等の実績

ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況（令和3年4月～令和4年3月）

R 3 年度	営業 日数	利用 室数	稼働率	利用者数(人)								
				沖縄県内				沖縄県外				合 計
				本島	離島	病児 (無料)	計	国内	海外	病児 (無料)	計	
4月	30	95	31.67%	19	47	12	78	112	0	47	159	237
5月	31	58	18.71%	0	30	6	36	57	0	40	97	133
6月	30	93	31.00%	4	34	14	52	73	0	52	125	177
7月	31	140	45.16%	48	12	6	66	87	0	83	170	236
8月	31	199	64.19%	27	197	47	271	89	0	65	154	425
9月	30	119	39.67%	19	19	7	45	112	0	75	187	232
10月	31	161	51.94%	24	73	25	122	88	0	51	139	261
11月	30	150	50.00%	20	108	25	153	96	0	34	130	283
12月	31	121	39.03%	25	101	29	155	60	0	9	69	224
1月	31	47	15.16%	37	18	9	64	6	0	6	12	76
2月	28	57	20.36%	23	11	8	42	35	0	10	45	87
3月	31	83	26.77%	34	72	14	120	16	0	7	23	143
合計	365	1,323	36.14%	280	722	202	1,204	831	0	479	1,310	2,514

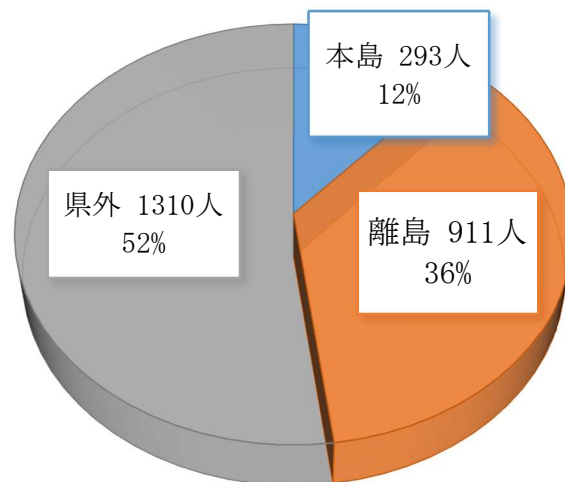
年度別稼働率（平成20年度～令和3年度）



都道府県別利用者数及び割合

	人数	割合
沖縄県	1,204	47.9%
鹿児島県	246	9.8%
青森県	243	9.7%
兵庫県	174	6.9%
宮城県	172	6.8%
大阪府	124	4.9%
高知県	124	4.9%
京都府	88	3.5%
宮崎県	66	2.6%
福岡県	44	1.8%
栃木県	17	0.7%
東京都	12	0.5%
合計	2,514	100.0%

居住地別利用者及び割合（N＝2,514人）



沖縄県内居住地別の利用者内訳

R3 年度	沖縄本島				沖縄県内離島									合計
	国頭	名護	宜野座	病児 (無料)	伊平屋	座間味	久米島	宮古	石垣	粟国	阿嘉	竹富	病児 (無料)	
4月	12	7		1			16	18	11	2			11	78
5月				0			12	15	3				6	30
6月	2	2		0			2	25	7				14	38
7月	33	15		0			2		6		4		6	60
8月	6	21		0			13	130	50			4	47	271
9月	1	18		0				10	9				7	38
10月		24		0			1	36	34	2			25	122
11月		20		4			14	79	12		3		21	153
12月	25			5		3	22	52	24				24	131
1月	1	36		2			6	11	1				7	57
2月		23		1			2	9					7	35
3月		19	15	0	28		21	16	7				14	106
合計	80	185	15	13	28	3	111	401	164	4	7	4	189	1,204
	280				722									
	293				911									

イ 利便性向上事業 ※拡充事業

建築設備改修整備事業

施設設立当初からの古い冷房設備の取り換え工事及び宿泊部屋の床の張替え工事等を行った。

ウ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業等

ファミリーハウス運営協議会の開催（2月）

（4）勤労者福祉事業（就労支援事業）

勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う事業で、地域において勤労意欲のある者に対する就労の支援に対し、その必要経費の一部を助成した。

- 1 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会（以下「労福協」という。）
- 2 労福協への助成事業
 - （ア）就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導
 - a 就労訓練事業
 - ・出張型 PC セミナー（浦和寮・パーソナルサポートセンター南部）
実施回数：17 回、受講人数：4 人
 - b 就労体験・中間的就労の場の提供
 - ・フードバンク活動への参加：実施回数 12 回、参加者数 16 人
 - ・お弁当配達、販売：実施回数 7 回、参加者数：2 人
 - ・ガス・水道検針、清掃業務：実施回数 45 回、参加者数 19 人
 - （イ）就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供
 - a 無料職業紹介事業
 - ・「就労困難者」にマッチングした求人開拓（新規登録企業者数 6 社）
実施回数：新規求職登録者数 3 人中採用 2 人
 - （ウ）資格取得、技術または技能の習得等職業能力を高める事業
 - a パソコン検定対策講座：実施回数 19 回、参加者数 3 人
 - b 検定試験合同開催：実施回数 2 回、受講者数 5 人
 - （エ）その他就労支援のために必要な事業
 - a キャリア教育（夢&未来そうぞうプロジェクト・沖縄大学学生向け出張相談）
実施回数：14 回、参加者数：193 人
 - b 働く仲間のゆめ・みらい基金（「働く」につなげる支援）
支援件数：153 件
連携機関：県パーソナルサポートセンター南部、ゆいはあと中部、
名護市社会福祉協議会 他 24 件

令和 3 年度 労福協就労サポートセンター実績

（グジョブセンターおきなわ内実施支援・セミナーで対応した数値）

令和 3 年度	利用回数 (延べ)	新規人数	リピーター数 (会員番号毎)	就職者数
4 月	24	11	11	3
5 月	9	1	5	0
6 月	12	4	5	1
7 月	11	2	8	4
8 月	9	4	5	3
9 月	18	6	8	3
10 月	14	3	10	0
11 月	11	3	4	5
12 月	14	4	3	2
1 月	88	12	2	0
2 月	35	8	10	0
3 月	14	5	2	1
合計	259	63	73	22

（５）現有資産の活用

事業団が所有する施設を民間フィットネス事業者（株式会社フィットネスプロ

モーション) 他 1 件へ定期賃貸借契約により貸し付けた。

株式会社フィットネスプロモーションが運営する「ジスタス浦添」の令和 3 年度施設利用者の延べ人数は約 395,000 人となっており、県民の健康増進に活用された。

賃貸物件の安全性及び収益性を維持するため、施設外壁補修及び塗装、防水工事をを行った。

土地については、発電設備設置の土地(152.08 ㎡)を株式会社シントーへ貸し付けた。また、事業団が敷地利用する里道(271.55 ㎡)を浦添市より購入した。

敷地内から湧出する温泉は、動力装置により汲み上げ、温泉施設(ジスタス浦添及び浦添の湯)へ供給を行った。令和 2 年度に設置した温泉貯湯タンクにより温泉供給量の増加が図られたことから、令和 4 年 8 月より月額使用料を増額する変更契約を株式会社フィットネスプロモーションと行なった。

(6) 特定資産活用による拡充事業計画及び周年事業計画の実施状況

ア 拡充事業(平成 30 年度～令和 5 年度)

令和 3 年度の拡充事業計画は、事業実施 4 年目となるが、予算額 31,140,000 円に対し、決算額は 25,452,580 円で執行率は 81.74%となった。総務部門、ファミリーハウス部門では、概ね計画どおりの実施となったが、健康づくり部門の高校生向け食育講演会(2 月)及び臓器移植推進部門の研修等派遣事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

また、令和 2 年度第 5 回理事会にて承認を受けていた拡充事業計画資産及び周年事業積立資産の目的外取崩しについては、資金運用において予算額を上回る収入があったことや新型コロナウイルスの影響による事業中止等による不用額が発生したため両資産の目的外取崩しは行わなかった。

	事業名	実 施 内 容
総務	安全対策施設整備強化事業	・オンライン研修及び会議等に対応するため、WEB 会議室の整備を行った。
健康づくり	健康課題解決型支援事業	・公募提案により、2 事業者へ助成支援を行った。 ※詳細は、P6～7 オ(ウ) 参照
	健康づくりボランティア養成・活動支援強化事業	・公募提案により、11 事業者へ助成支援を行った。 ※詳細は、P7～8 オ(エ) 参照
	勤労者健康推進事業	・沖縄県健康長寿課との共同事業として『職場の健康力アップ促進事業』を実施し、県内企業 17 社への健康づくり支援を行った。 ※詳細は、P5 エ(ア) 参照
臓器移植推進	テレビ番組活用型事業	・著名アーティストがプロデュースした音源を活用した臓器移植普及啓発のためのプロモーション映像について、各種メディア(TV、ラジオ、WEB)での CM 放映並びに県内医療機関 3 施設での放映を行なった。
FH	ファミリーハウス利便性向上事業	・施設設立当初からの古い冷房設備の取り換え工事及び宿泊部屋の床の張替え工事等を行った。

事業拡充計画資産(特定資産)の活用による拡充事業計画表

【拡充事業】予算額2.0億円

実施部門	事業名1(中科目)	事業名2(小科目)	事業内容	事業実績						※令和4年度及び令和5年度については予算(概算)額を記載		
				平成30年度 ＜2018＞	平成31年度 ＜2019＞	令和2年度 ＜2020＞	令和3年度 ＜2021＞	令和4年度 ＜2022＞	令和5年度 ＜2023＞	小計	部門別合計	
総務	経営業務効率化推進事業	①経営管理システム導入事業	・財務会計、勤怠管理及び給与システム等の導入		2,593,360	1,298,000			0	3,765,426	7,656,786	38,203,724
		②安全対策施設整備強化事業	・増設の設置、ウェブ会議室の整備 ・安全性の高いネットワーク及びサーバーシステム構築 ・個人情報保管用金庫及び監視カメラの設置 ・空調設備の設置、シュレッダー、備品等の購入		23,533,746	1,467,356	478,450 (500,000)	500,000	4,567,386	30,546,938		
		①団体等連携型事業	・連携先(行政関係機関、研究教育機関、職能団体等)	9,900,000		5,842,710	2,701,259 (6,000,000)	6,510,000	10,500,000	35,453,969	103,589,820	
健康づくり	健康づくり強化推進事業	②健康課題解決型支援事業	・公募提案により支援事業を選定 ・官民連携型プロジェクトへの助成支援		16,862,679	19,193,174	9,474,000 (10,000,000)			45,529,853		
		③勤労者健康推進事業	・健康経営普及促進プロジェクト事業 ・健康経営企業連携モデル実証事業(派遣型)		2,618,398	3,983,600	3,999,000 (4,000,000)	4,000,000	8,000,000	22,605,998		
臓器移植推進	臓器移植普及促進 人材育成事業	①移植医療セミナー(TPM)追加派遣事業<既存事業の拡充>	・派遣人数増員分(計10名)の派遣費負担: 平成31年～令和5年まで各年2名		993,189	0	0 (0)			1,570,000	2,563,189	17,372,619
		②学会等派遣事業	・派遣人数(各年4名程度)		576,830	0	0 (640,000)	640,000	640,000	1,856,830		
		①臓器移植普及啓発イベント事業	・グリーンリボン普及啓発イベント実施			952,600	0 (0)		0	952,600		
ファミリーハウス	臓器移植普及啓発 促進事業	②テレビ番組活用型啓発事業	・テレビ特集番組の放映 (改正臓器移植法施行10周年記念) ・音楽と映像を活用したグリーンリボンプロジェクト事業			3,000,000	2,000,000 (2,000,000)	3,500,000	3,500,000	12,000,000		
		①建築設備改修整備事業	・空調、照明、調理設備の改修及び省エネ化 ・宿泊者向けWi-Fi等の設置 ・避難経路(外構)の整備		1,838,800	0	1,892,000 (2,000,000)	8,137,000	5,500,000	17,367,800	19,500,720	
		②看板設置事業	・施設案内用大型看板の設置						0			
		③宿泊予約システム構築事業	・宿泊予約及び会計システムの導入		1,132,920				1,132,920			
		④施設紹介動画制作事業	・動画制作委託料		0	0			1,000,000	1,000,000		
		人件費	①嘱託職員人件費	・嘱託職員1名(月額240,000円×12ヵ月) ・令和4年度より2名⇒1名に減		4,798,220	5,627,026	4,907,871 (6,000,000)	3,000,000	3,000,000	21,333,117	21,333,117
					9,900,000	54,948,142	41,369,466	25,452,580 (31,140,000)	26,287,000	42,042,812	200,000,000	200,000,000
実 績 合 計												

※令和3年度()内は予算額。目的外取崩しはなし。

周年事業積立計画資産(特定資産)の活用による周年事業計画表

【周年事業】予算額0.3億円

【町 十 年 事 業】「 井 田 〇

※令和3年度()内は予算額。目的外取崩しはなし。

(7) 資金運用

低金利が継続する中、満期を迎えた定期預金や早期償還された債券については、リスク管理を行いながら、一般担保付事業債及び株債に連動する債券の購入を行った。令和3年度後半は新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気減速に加え、米国の利上げ、インフレ、ウクライナ情勢等の影響を受けた運用環境の悪化が見込まれたことから、安全性と流動性の高い定期預金への預入れを行なった。令和3年度の運用益実績額 119,907,519 円については、対前年度比で 15,687,183 円減少したが、令和3年度の運用益予算額 93,274,869 円に対しては 26,632,650 円の収入超過となった。そのおもな要因としては、米ドル及び豪ドルに連動する債券が想定為替より円安傾向となったことで金利が上昇し収入増加に繋がった。

ア 損益ベース(正味財産増減計算書から)

	令和3年度				令和2年度				対前年度増減	
運用種類	運用額 (千円)	構成比 (%)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	構成比 (%)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)
定期預金	750,000	10.42%	203	0.03%	520,000	7.06%	824	0.16%	230,000	-621
有価証券	6,445,493	89.58%	119,704	1.85%	6,842,221	92.94%	134,770	1.97%	-396,728	-15,066
計	7,195,493	100%	119,907	1.67%	7,362,221	100%	135,594	1.84%	-166,728	-15,687

※上記有価証券の運用額には、早期償還となった有価証券を振替えて普通預金で保有する金額を含む。

3 業務経過 (令和3年度)

月日	主 要 事 項
4月1日	令和3年度第1回臨時評議員会 (みなし決議)
〃	令和3年度第1回理事会 (みなし決議)
〃	臓器移植連絡調整者設置事業受託 (沖縄県)
2日	臓器移植普及啓発活動団体助成事業応募開始
20日	臓器移植推進事業賛助会員応募開始
13日	課題解決型支援 (助成) 応募受付開始 (応募期間: 6/2 迄)
16日	ボランティア養成・活動支援助成応募受付開始 (5/31 迄)
〃	市町村及び団体助成事業応募受付開始 (5/31 迄)
5月21日	令和2年度事業報告及び決算に係る監事による監査実施
24日	有限会社リフォーム施工との施設外壁補修及び塗装、防水工事請負契約の締結 (工事期間: 令和3年5月24日～令和4年2月28日)
6月7日	令和3年度 第2回理事会 (みなし決議)
26日	体験型栄養教育システム活用事業 (3月迄に食育 SAT システムを7件で活用)
7月5日	女性の健康づくり支援事業 (8月31日迄に生理用品を6,240セット配布)
11日	令和3年度定時評議員会 (みなし決議)
12日	令和3年度第3回理事会 (みなし決議)
12日	Instagram キャンペーン アート作品応募受付開始 (～8/15 迄)
27日	第1回臓器移植推進委員会開催 (オンライン)
29日	第1回沖縄県移植情報担当者会議開催 (オンライン)

8月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND」の発行（8・11・2月 3回／年：各20,000部）
4日	職場の健康力アップ促進事業開始（県共同事業 R4.3.25迄）
9月1日	グリーンリボンプロモーション事業テレビCM放送（毎週水曜～10.31迄）
29日	沖縄グリーンリボンアート展開催（県立図書館：～10/25迄）
10月4日	グリーンリボンプロモーション事業ラジオCM放送（平日～10.15迄）
19日	食育活動調理実習の開催（名護市外10市町村にて18回開催・R4.2.26迄）
21日	浦添市との里道（271.55㎡）の購入に係る土地売買契約の締結
27日	若年層向け食育講習会（八重山高校7クラス：～10/29迄）
29日	第2回臓器移植推進委員会開催（オンライン）
11月12日	沖縄グリーンリボンアート展開催（県立中部病院：～12/3迄）
24日	スマートライフセミナー開催（那覇）沖縄県市町村職員共済組合
26日	スマートライフセミナー開催（中部） //
12月9日	第2回沖縄県移植情報担当者会議開催（オンライン）
23日	健康づくり講演会（アーカイブ無料配信：～3/22迄）
3月10日	第3回沖縄県移植情報担当者会議開催（オンライン）
16日	若年層向け食育講習会（南部商業高校2クラス）
23日	第3回臓器移植推進委員会開催（オンライン）
24日	令和3年度第4回理事会
31日	株式会社フィットネスプロモーションとの温泉供給契約書の変更契約の締結

4 評議員会決議事項

（1）令和3年度第1回臨時評議員会 みなし決議（令和3年4月1日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

（2）令和3年度定時評議員会 みなし決議（令和3年7月11日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	令和2年度事業報告及び決算	議決
第 2 号	評議員の任期満了に伴う次期評議員の選任について	議決
第 3 号	役員の任期満了に伴う次期役員の選任について	議決

5 理事会決議事項

（1）令和3年度第1回理事会 みなし決議（令和3年4月1日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	専務理事の選定について	議決
第 2 号	専務理事に事務局長の職務を委嘱する件	議決

（2）令和3年度第2回理事会 （令和3年6月7日）

議案番号	議 案	結果
------	-----	----

第 1 号	令和2年度事業報告	議決
第 2 号	令和2年度決算	議決
第 3 号	令和3年度新規事業の実施について	議決
第 4 号	評議員の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦について	議決
第 5 号	役員の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦について	議決
第 6 号	令和3年度定時評議員会の開催について	議決

(3) 令和3年度第3回理事会 みなし決議 (令和3年7月12日)

議案番号	議 案	結果
第 1 号	理事長の選定について	議決
第 2 号	専務理事の選定について	議決
第 3 号	専務理事に事務局長の職務を委嘱する件について	議決

(4) 令和3年度第4回理事会 (令和4年3月24日)

議案番号	議 案	結果
第 1 号	令和4年度事業計画	議決
第 2 号	令和4年度収支予算	議決
第 3 号	令和4年度第1回臨時評議員会の招集並びに目的である事項等について	議決

6 評議員に関する事項

(1) 現 況 (令和4年3月31日)

氏 名	任 期	備 考
石 原 朝 子	令和3年7月11日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生副委員長
宮 里 善 次	〃 〃	沖縄県医師会副会長
與 儀 利 枝	〃 〃	沖縄県婦人連合会副会長
新 垣 弘 美	〃 〃	沖縄県栄養士会理事
糸 数 公	〃 〃	沖縄県保健医療部医療技監兼保健衛生統括監
砂 川 安 弘	〃 〃	連合沖縄事務局長
田 端 一 雄	〃 〃	沖縄県経営者協会常務理事

イ 異動状況

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和3年7月11日	評議員	石原朝子	選任	
〃 〃	評議員	宮里善次	選任	
〃 〃	評議員	與儀利枝	選任	
〃 〃	評議員	新垣弘美	選任	
〃 〃	評議員	糸数公	選任	
〃 〃	評議員	砂川安弘	選任	
〃 〃	評議員	田端一雄	選任	
令和4年3月31日	評議員	糸数公	辞任	

7 役員等に関する事項

(1) 役 員

ア 現 況 (令和4年3月31日)

職 名	氏 名	任 期	備 考
理 事 長	安里哲好	令和3年7月11日～ 令和5年度定時評議員会	沖縄県医師会会長
専務理事	金城敦	〃 〃	沖縄県保健医療福祉事業団
理 事	末松文信	〃 〃	沖縄県議会文教厚生委員長
理 事	東盛政行	〃 〃	連合沖縄会長
理 事	金城克也	〃 〃	沖縄県経営者協会会長
理 事	與那覇信子	〃 〃	沖縄県婦人連合会会長
理 事	村濱千賀子	〃 〃	沖縄県栄養士会会長
理 事	大城玲子	〃 〃	沖縄県保健医療部部長
理 事	友利公子	〃 〃	沖縄県商工労働部産業雇用統括監
監 事	波平正	〃 〃	税理士
監 事	有銘寛之	〃 〃	公認会計士

イ 異動状況

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和3年4月1日	理 事	金城敦	選任	新任 沖縄県保健医療福祉事業団専務理事

令和3年7月11日	理 事	安 里 哲 好	選 任	
〃 〃	理 事	金 城 敦	選 任	
〃 〃	理 事	末 松 文 信	選 任	
〃 〃	理 事	東 盛 政 行	選 任	
〃 〃	理 事	金 城 克 也	選 任	
〃 〃	理 事	與那覇 信子	選 任	
〃 〃	理 事	村濱 千賀子	選 任	
〃 〃	理 事	大 城 玲 子	選 任	
〃 〃	理 事	友 利 公 子	選 任	
〃 〃	監 事	波 平 正	選 任	
〃 〃	監 事	有 銘 寛 之	選 任	
令和4年3月31日	理 事	金城 敦	辞 任	
〃 〃	理 事	大 城 玲 子	辞 任	
〃 〃	理 事	友 利 公 子	辞 任	

(2) 職 員

ア 現 況 (令和4年3月31日)

職 種	人 数	備 考
課 長	1 人	副参事兼務
副 参 事	1 ※	
主 幹	1	
主 査	3	再任用1名、臓器移植コーディネーター1名含む
主 任	3	臓器移植コーディネーター1名含む
主 事	1	
(嘱託員)		
運動指導員	1	健康運動指導士
事 務	4	
合 計	14 人(5)	() は嘱託員で内数、 ※は兼務

イ 異動状況 (職員)

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和3年4月1日	主事	下 地 涼 子	採 用	
令和4年3月31日	副参事兼課長	大 城 幸 枝	退 職	
〃 〃	主査 (再任用)	漢 那 清 剛	退 職	